

主編 許金生

近代日本在華報刊通信社
調查史料集成

(一九〇九—一九四一)

綏遠書局

主編 許金生

(第九冊)

近代日本在華報刊
調查史料集成

(二九〇九)

(二)

信社

綫裝書局

图书在版编目 (C I P) 数据

近代日本在华报刊通信社调查史料集成: 1909 ~
1941: 全 10 册: 汉、日 / 许金生主编. -- 北京: 线
装书局, 2014.10

ISBN 978-7-5120-1534-0

I. ①近… II. ①许… III. ①中日关系—国际关系史
—史料—近代—汉、日 IV. ① D829.313

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2014) 第 214882 号

近代日本在华报刊通信社

调查史料集成 一九〇九—一九四一

主 编 许金生

责任编辑 赵 鹰

出版发行 线装书局

地 址 北京市西城区鼓楼西大街四一号

邮 编 一〇〇〇〇九

电 话 六四〇四五二八三

网 址 www.xzhbc.com

北京祖龙古籍胶印装订厂

二一〇〇千字

三〇一

二〇一四年十月第一版第一次印刷

六〇套

七五〇〇元 (全十册)

ISBN 978-7-5120-1534-0



9 787512 015340 >

第九册

一九三四年.....一

一九三六年.....一五九

一九三四年

6661 IX NVP

昭和九年版

外國に於ける新聞(上卷)

(滿洲國及中華民國の部附大連、香港)

外務省情報部



例 言

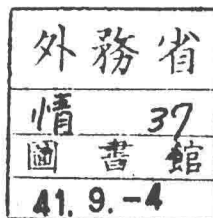
一、本調査は在外公館の調査報告に基き編纂せるものなり。

一、調査の時期は大體昭和八年末現在を基準とせるも上梓迄に判明せる其

後の變化は出來得る限り之を補追せり。

一、各地名の下位に記せる人口は昭和八年十二月末現在の數字なり。

昭和九年八月



外國に於ける新聞（上卷）

目次

滿洲國	新	奉	公	四	鐵	閩	拘	本	撫	鞍	新	海	通	遼	營
京	天	主	平	嶺	原	鹿	湖	順	山	府	龍	化	陽	口	
一	五	九	九	九	〇	〇	〇	一	一	二	二	二	二	二	三

安	鄭	通	桃	農	吉	哈	齊	黑	北	海	滿	閩	局	頭	岡
東	家	遼	南	安	林	爾	齊	河	安	拉	洲	島	子	道	們
四	五	六	六	六	七	七	八	九	九	〇	〇	〇	一	一	二

中華民國

北部支那

威海衛	芝罘	青島	博山	濟南	太原	綏遠	張家口	天津	北平	附	赤峯	錦州	琿春	百草溝	大連
.....															
六七	六五	六二	六二	五九	五八	五七	五六	四八	三七	三三	三三	三二	三二	三二	三四

中部支那

沙市	長沙	鄭州	漢口	南昌	九江	漢口	當塗	合肥	宜城	巢縣	蚌埠	安慶	蕪湖	杭州	蘇州	南京	上海
.....																	
一一五	一〇九	一〇九	一〇二	一〇一	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	九九	九九	九九	九八	九七	九六	九四	八七	六八

滿洲國

新 京

人 口

日本人 三一、八九八（內朝鮮人 三、九三三）
滿洲人 一五五、二〇八 外國人 五五三

概 説

數年前迄南北滿洲交通の中繼地點として將又日、支、露三國折衝の要所として幾に其の存在を認められ居たるに過ぎざりし長春は昭和七年三月新に滿洲國都と奠められ新京と改稱せらるるや一躍政治、經濟、交通の中心地となり國都建設事業の進展に従ひ各方面とも長足の發展を遂げ近々兩三年にして世界的に其の存在を認めらるるに至れると共に言論機關も大に面目を改め其の發展振相當目覺しきものあり斯業關係記者のみにても既に約二百名を算する盛況なり。

漢字新聞は前年度迄發行部數僅々一千五百部内外に過ぎざりし大同報が昭和八年度に至り一躍二萬部に伸展したる外八年三月よりは盛京時報新京號外の發行をも見るに至れり。

邦字紙は前年度迄四社なりしが昭和八年度に至り二社（大連新聞、北滿號外及滿洲日報新京號外）を加へ六社となり且各社共新興氣分にて活氣横溢の狀況なり但し内容は何れも滿洲問題に關する諸種の情報及社會記事を主とし未だ論況等に見るべきものなく且各社相互の競争激甚なる爲業態は何れも香しからざるが如し。

右の外在滿鮮人機關紙として昭和八年八月鮮字紙滿蒙日報創刊され在滿鮮人啓發に努めつつあるが唯一の在滿鮮字紙として其の將來は矚目に値す。

漢字雜誌其他定期刊行物に付ては滿洲國政府公報、民政部旬刊等政府筋より發行せらるる官外の外見るべきものなく邦字雜誌に至りても學校在郷軍人會等の機關誌を除き四誌あるが未だ出色のものなし。

(イ) 新 聞

名 稱	主 義 系 統	持 主	編 輯 幹 部	備 考
大同報	(滿洲國機關紙) (協和會系)	社長 王希哲 副社長 甲文雄	主筆 劉錫庚 記者 程芝助 山崎內藏之助 山口源二	大正四年五月九日創刊、最初大東日報と改め同年六月七日現後大東報とし改題せり。大東思想を鼓吹し張學良の機變紙は幹部も交換し、満洲國の補助發行等のも事關紙として宣傳に努む。約七千圓の補助を受け大同主義の宣傳に於ける唯一の日刊紙である。漢字紙として社會各方面に歡迎せらる。發行所新京東馬路。
新盛京時報外報	支社長 湯正一 支亞細亞新聞出身曾あり	主筆 同上 記者 黑田一男		昭和八年三月二十七日創刊、不定期時發行買賣重要事件を新京に於ける母紙讀者の數目即ち發行部の數は新京に於ける母紙讀者の數目〇。 昭和七年七月十五日發刊。
滿洲國政府公報官	(口) 雜誌	國務院總務廳		昭和七年四月一日發刊。
民政部旬刊官報		民政部長司總務司文書科		昭和七年七月十日發刊。
司法公報官報		司法部總務司		昭和七年七月十五日發刊。

新 京 日 報

大 滿 蒙

新 京 日 日 新 聞

滿 洲 日 報 新 京 號 外

新

社長 田 琢 磨
當地方有力者にして民
合、長地方委員議長等
に歴任したることあり

社長
河
榮
忠

社長 大石常松
大正二年以來記者生活に入り國民新聞社、日新報社の記者を経営し昭和七年九月現職に就く。

支社長
南里順生
大正十年八月大連新聞
社に入り同年十二月
月遼東、滿日合併共
に本社に入り昭和六
四年新支社長なる

主筆 箱田 宗雄
記者 原 幸之

主筆 松本 勇
記者 永定 吉
本新聞、東京夕刊新報、日
本新聞、京城日報、朝
鮮日日新聞等の記者たりしことあり。

主筆 松浦 朗
記者 早稻田大學英法科出身 藤清

主筆 同記者 吉田 上
昭和七年四月盛京時報
新京支社に入り四月八年
十一月本社に入る

明治四十一年一月一日創刊、最初朝日新聞各
 明四頁發行部數二千八百、北滿日報と改
 稱爲し、大正七年四月十八日、現名に改む。
 稱爲し、昭和七年九月十八日、發行部三萬
 廣告料の義ありと云はる。發行所、新
 京五圓の補助ありと云はる。發行所、新
 中央通一九。

町紙五料頁大正
四第中名の昭正
目資一補助を年
本金流助を年部
。金の以十數二
三新受て二八
五居鐵九日創
千しれ本日最
圓て社現初
社と名長
發行云に春
各ふ年改實
所方額新業
面當三す新
京に地千開
永歌邦乃共
樂迎至告各
四

五
萬
糾
紛
圓
發
行
所
京
三
町
二
丁
目
二
ノ
本
金

共
部
面
に
て
運
賃
者
日
約
八
年
七
月
各
地
殊
別

援
各
一
百
四
十
萬
圓
新
舊
數
約
千
兩
滿
洲
支
出
額

昭
和
七
年
九
月
十八
日奉
天
京
於
是
移
轉
東
朝
和
後

昭和七年三月十五日創刊、不定時發行一頁、發行部數は同地方に於ける母紙の發行部數と同じ約四千五百。四平街以北の讀者の重大事件を速報するを目的とす。發行所新京蓬萊町一丁目二一。